



高校野球のマナーとルールを学ぼう (第 68 回)



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えします。

マナー編 スタンドの応援

試合前や試合後にエールの交換する光景は、相手に敬意を表して健闘を讃える行為として素晴らしいですね。ところが、最近気になることは、いざ試合が始まると、相手のエラーや四球で出塁や得点した際に、相手を侮辱する気持ちは無いかもしれませんが、「ラッキー…」などとリズムに乗って喜びを表す行為が見受けられることです。確かに味方に有利な状況になるのは嬉しいことですが、**喜びの表現は自チームのプレーを賞賛するものであり、相手チームの選手を侮辱するものではありません。**相手を尊重する姿勢は、試合中も忘れず、マナーとして心がけてもらうことを望んで止みません。

ルール編 観衆との会話は禁止!

マナー編と合わせて、スタンドで応援する人と、グラウンドのプレーヤーとの関わりとして、ぜひ覚えておいていただきたい事項を紹介します。

試合会場が、球場なのか学校のグラウンドなのかに関係なく、ユニフォームを着用している者は、**規則 4.06 および 6.04(b)**で次のことが禁じられています。

- (1) プレーヤーが、試合前、試合中、または試合終了後を問わず、観衆に話しかけたり、席を同じくしたり、スタンドに座ること。
【注】アマチュア野球では、次の試合に出場するプレーヤーがスタンドで観戦することを特に許す場合もある。
- (2) 監督、コーチまたはプレーヤーが、試合前、試合中を問わず、いかなるときでも観衆に話しかけたり、または相手チームのプレーヤーと親睦的態度をとること。

相手の球種やサインを伝えるような行為を疑われ、意図せずスポーツマンシップに反していると見なされる可能性もあるため、スタンドの仲間と話すことは絶対に止めましょう。大会運営規定にもはっきりと禁止事項として明記されています。また、6.04(a)(1)では、言葉、サインを用いて、観衆を騒がたせるようにあおったり、あおろうとすることも禁止されています。

高校野球では、対戦相手がともに礼に始まり礼に終わりますが、スタンドで応援する人とプレーヤーも、礼に始まり礼に終わり、感謝の気持ちを表現しています。話したり、スタンドとプレーヤーと一体となるため派手なガッツポーズをするというのは何気ない行為かもしれませんが、ルールでも禁止されていますし、何より相手チームへの尊重にもなりますので、試合中はこれらの行為はしないよう注意しましょう。

